

オンライン企画 学生の「居場所づくり」に関する報告

EHC コーディネーター

瀬戸徐映里奈

【企画の概要】

新型コロナウイルスの感染拡大によって、遠隔授業へ移行し、学生同士の交流が難しくなった。特に、新入生たちは、人との関わりを作れない環境のなかで新しい大学生活をはじめなければならなかった。そこで、環境人間学部では、孤立を深めている新入生を特に対象とし、上級生と出会い、学生生活などについて相談できる場をつくろうと 6 月からオンラインによる「学生の居場所づくり」を企画・開催した。

「居場所づくり」の運営には Webex を用いた。また、各学生への呼びかけには、学務課にご協力いただき、ユニバーサルパスポートと Twitter を使用した。EHC に所属している学生団体が参加し、活動紹介を通して新入生への課外活動の魅力を伝えるとともに、授業や学生生活などについても参加者からの質問を受け付け、学生同士の交流をはかった。

【実施日・主催団体・参加人数】

- ・ 6 月 23 日～7 月 7 日：主に各団体の活動紹介を実施、質疑応答で新入生と交流
- ・ 7 月 28 日～9 月 15 日：開催希望団体を募集し、学生主体でフリートーク会等を実施

表 1 居場所づくりの実施内容

日付	主催団体	参加人数 (開催団体除く)	主な質問内容・話題
6 月 23 日	・いきものずかん ・ Change	3 人	質問： EHC 学生団体やサークル活動と授業との両立は可能なのか
6 月 25 日	・ Campus tree ・ DEN	5-11 人	質問： 授業の履修や課題の提出について
6 月 30 日	・ 木の子	3 人 (うち 2 名は工学部 2 回生)	質問： ・ 新入生の団体加入方法について ・ 工学部でも参加できるのか

7月2日	・農楽部 畑っ子 ・おにぎりひろばプロジェクト	2人	質問： 学生団体同士の交流はあるのか
7月7日	・町家しょうあんプロジェクト ・げんきっこ新在家	2人	質問： 授業の合間に活動できるのか
7月28日	・Campus tree	0人(現役生内でのディスカッションを実施)	話題： コロナ禍における団体運営について
7月30日	・Change	2人	質問： 授業や課題の取り組み方について
8月4日	・Campus tree	0人(現役生内でのディスカッションを実施)	話題： コロナ禍における団体運営について
8月13日	・木の子	5人	話題： 新入生の自己紹介 質問：アルバイトの見つけ方・働き方について
8月17日	・いきものずかん	0人(現役生内でのディスカッションを実施)	話題： コロナ禍における団体運営、オンラインを使用した折り紙講習のやり方
9月15日	・Change	0人(現役生内でのディスカッションを実施)	話題： コロナ禍における活動について

【学生の感想や意見】

○企画への参加動機

- ・SNSをしていないので、英語の講義でのDiscordで話す程度しか同級生とのつながりがなく、参加したいと思った。
- ・オンライン授業になってSNSアカウントをとったが、他の同級生よりアカウントをとるのが遅かったので、知り合う時期が他の人と遅れてしまい友人ができなかったので、参加しようと思った。
- ・下宿生だが、大学に行けず自宅でオンライン授業をこなすだけの日々を過ごしていた。ユニバーサルパスポートでこの企画の告知をみて、ぜひ参加しようと思った。
(7月以降の企画)
- ・アルバイト先の上級生が、この企画を教えてくれてぜひ参加しようと思った。

○感想

- ・あまり学生同士で話せる機会がないので、参加できてよかった。
- ・下宿先でひとりだけで過ごしていたので、「居場所づくり」の企画が唯一大学の人と話せる機会だった。

- ・入学前から気になっていた学生団体とコンタクトをとることができてよかった。

○相談内容

- ・授業、サークルや学生団体などを掛け持ちして、両立することはできるのか。
- ・学生団体に加入したいが、どのようにすればいいのか。
- ・授業課題への対応について
- ・授業の履修に関するアドバイス
- ・今後の実習内容などについて

○意見

- ・昼休みは課題の準備などがあるため参加ができないので、別の時間帯で実施してほしい。
- 意見をうけて、7月以降は学生団体と再調整し、昼休み以外の時間帯で実施した。

【写真：居場所づくりの様子】

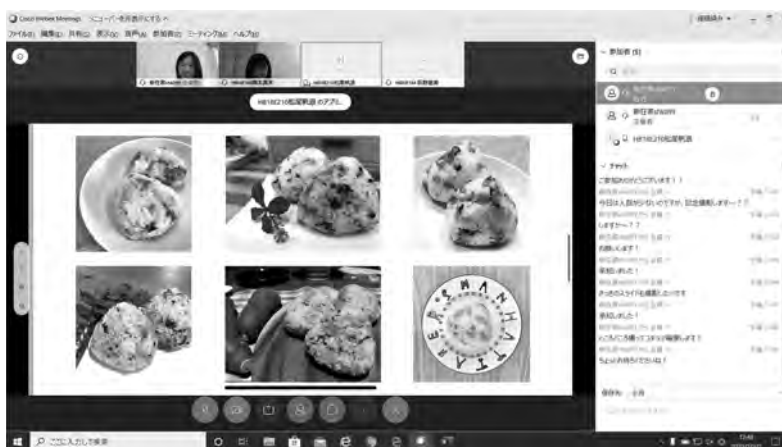


図1 「おにぎりひろばプロジェクト」がプロジェクト内容を紹介する様子
(出所：2020年7月2日 学務課撮影)



図2 「農楽部 畑っ子」が団体紹介を実施する様子
(出所：2020年7月2日 学務課撮影)

【コーディネーターの総括】

6月に実施した「居場所づくり」ではセンター長の乾先生にも参加いただき、各学生団体の紹介を行った。司会はコーディネーターが務めた。通学ができなくなっていたこともあり、SNS で環境人間学部や学生団体のアカウントをフォローして情報収集をしている学生も多く、思いのほか参加者に恵まれた日もあった。

少しずつ学生団体もオンラインでのやりとりに慣れ、学生団体のメンバーから「堅いのではないか」など居場所づくりの企画進行について意見も寄せてくれるようになった。7月以降は学生団体に進行をまかせ、コーディネーターは聞き役に回った。授業を通して使用方法を身につけた Webex を早速活用し、写真などのコンテンツを用意して新入生に効果的にアピールしていた学生団体もあった。

上回生との交流や課外活動への興味から「居場所づくり」に複数回参加していた新入生もいたが、2限3限に授業があるために昼休みは課題に追われて、参加したくてもできなかったという声もあった。もし再び開催することがあれば、学生、とくに新入生にあわせた時間帯での実施を企画できるようにしたい。